

ご列席の皆様、本日の2018年度ドバイ及びUAE北部日本人会総会への御出席、大変お疲れ様でございます。開会に際しまして、本日は、名誉会長として、挨拶させて頂く機会をいただき、まことに有難うございました。

はじめに、今年度、責任ある大役を果たされました安藤会長をはじめ、國兼学校理事長、そして各部部長、並びに役員の皆様、本業多忙な中、大変ご苦労様ございました。心より、慰労の念を持って、感謝申し上げます。役員の皆様の献身的な取り組みのおかげで、法人化のプロセスをはじめ、様々な活動や交流を通じまして、今年度、日本人会として大きな成果が見られました。皆様の多大な御貢献に敬意を表します。

さて、私にとりまして、日本人会における最も最近のことでは、今月初め、アブダビとドバイとの日本人会野球部対抗戦にて、野球部さんのお招きで、始球式を気持ちよく行わせて頂きました。更に、始打式というものもさせて頂き、アブダビ・チームの先発ピッチャーから、見事1球目に、頭に向かってくる投球を、ドーンと受けました。まさに、中東、どこから何が飛んで来るかわかりません。皆さんも注意してください。なお、この始打式の状況については、今月の「かわら版3月号」で、私がボールを軽くかわしたように野球部の方に編集していただいておりますが、本当に当たると思い、ズボンに泥がつくほど派手に転びました。しかし、私が転んだ後の、ドバイチームの皆様が、心配して転んだ私の所に駆け寄って集まっていたことに、心底、感激しました。

やはり、海外だからこそ、日本人の仲間が大事。そして、この日本人会が、我々日本人にとって欠け替えもなく重要ということを改めて思い知らされました。

私、一会員としましても、体育部と野球部が大きく骨を折られたソフトボール大会に参加させて頂き、チームメイトと、クジ運に恵まれ、協賛企業様をご提供された賞品をいただくことができました。有難うございました。もちろん、全ての部会の方々が、日本人会としての活動に献身的に尽くされていることは、よく存じております。

そういった中で、この5年間で、僅かではありますが会員数は減少傾向にあり、また、会費収入も今年度が最も少ない状況にあります。ご案内かもしれませんが、この5年間で、在留邦人の数、及び日系企業の数、ともに、明瞭に増加傾向にあります。そういった中で、会員数や、会費収入の減少傾向は、憂慮しなければならない状況にあるのかもしれませんが。

皆様が御尽力されている部会の活動は非常に有益であり、様々な交流に役立っております。一方で、一会員の観点に立てば、そういった部会に入っていないかもしれない会員の方々の声といったものにも、耳を傾ける必要があるのかとも思います。こういった点につきましても、本日承認されます新しい役員の皆様に期待申し上げたく思います。そして、総領事館としての立場に立てば、そのような日本人コミュニティの取り組みについては、出来る限りの努力を惜しみません。何でも総領事館に仰ってください。

それでは、本日の総会の実りある成果、そして、日本人会の益々のご発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

有難うございました。